

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発 行 所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編 集 発 行 人
佐野和夫
印 刷 所
(株)東北プリント



「第74回東北鞍馬競技大会」 令和6年4月21日 涌谷町

もくじ

C O N T E N T S

宮城県 副業・兼業マッチングサイト
「ダブルワークみやぎ」について…………… 2

令和5年度生乳生産状況及び
令和6年度生乳出荷目標について…………… 3

令和5年度家畜共済事業実績について…………… 4

畜試便り…………… 5

令和6年度全農宮城県本部畜産部の事業方針…………… 6-7

「白石牧場で牛の管理を学んでみませんか。」…………… 8

第59回宮城県ブラックアンドホワイトショウ
開催のお知らせ…………… 8

農業共済新聞を購読してみませんか!…………… 9

価格安定対策事業の発動状況について…………… 9

衛生便り…………… 10

農業大学校生の抱負…………… 10

New face…………… 11-12



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



宮城県 副業・兼業マッチングサイト「ダブルワークみやぎ」について

宮城県農政部畜産課

昨今の「人口減少や少子高齢化」による構造的な人手不足に加え、スキルを持つ人材の都市部集中など、地方企業においては今後ますます「人材の確保」が難しくなっていくと予想されています。

一方で、主要企業の「副業解禁」が進む中、自身のスキルや経験を活かして「地方企業を応援したい!」と考える人材が増えています。

こうした状況を捉え、宮城県雇用対策課では県内企業の経営の安定化と移住・定住推進を目的として、「副・兼（富っ県）みやぎマッチング促進プロジェクト」事業を実施し、その一環として、県内の事業者は無料で利用可能なマッチングサイト「ダブルワークみやぎ」を整備しました。昨年度は畜産関係の事業者にも活用いただき、企業HPやチラシの作成、現場作業から作業マニュアルの作成まで様々な業務でマッチングしています。

副業・兼業人材活用には、以下のようなメリットがあります。

1. 転職市場では出会えない他の企業に勤めている方や個人事業主の方等の優秀な人材に出会える可能性がある
2. 必要な時に必要な頻度で、経営環境の変化に合わせて柔軟な活用（委託・雇用）ができる
3. 常時雇用に比べてコストを低く抑えられる

副業・兼業人材を活用することで、採用が進まず優秀な人材が確保できない、自社ECサイトを効果的に運用したい、企業紹介動画をつくりたい、といった悩みに、リスクを抑えてチャレンジできます。

本事業では、事務局が求人作成から採用までのきめ細かな支援を実施します。

課題を具体的にイメージができない場合でも、是非お気軽にお問い合わせください。

■宮城県 副業・兼業人材マッチングサイト「ダブルワークみやぎ」

<https://wwork-miyagi.pref.miyagi.jp/>

■お問い合わせ先

副・兼（富っ県）みやぎマッチング促進プロジェクト事務局

TEL：03-6219-8742（平日9：00～17：00）

Mail：dw-miyagi@port.ne.jp

※受託事業者：株式会社みらいワークス



■事業実施主体

宮城県経済商工観光部雇用対策課雇用推進班

（企画管理班 佐藤 文恵）

 <p>仙台牛PRキャラクター牛政宗くん</p>	<p>感動を呼ぶ製品をめざして</p> <h1>ORION</h1> <p>ハードシステムとソフトシステム （ビフォー&アフターサービス）で あなたの経営を応援。 これがオリオンの思想です。</p> <h2>中央オリオン株式会社</h2> <p>宮城営業所 千909-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号 TEL：0229-26-4330 FAX：0229-26-4338</p>	<p>次の一手を未来につなげたい</p>  <p>総合印刷企業 株式会社 東北プリント</p> <p>〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号 TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986 E-mail mail@tohokuprint.co.jp</p>
---	---	---

令和5年度生乳生産状況及び令和6年度生乳出荷目標について

東北生乳販売農業協同組合連合会宮城支所
みやぎの酪農農業協同組合

1. 生乳生産状況

(1) 宮城県

宮城県の令和5年度の生乳生産状況は、需給緩和による生産抑制対策および夏の記録的な猛暑の影響に加え離農も例年以上に進行していることから、受託乳量は96,393トﾝ、前年同期比92%の実績となりました。また、出荷戸数は334戸と前年より24戸減少しました。

2. 令和6年度生乳出荷目標

(一社)中央酪農会議では、生乳安定化対策として3ヶ年単位として取り組み、令和5年度までは前年度実績以上を目標数量として設定してきたが、新たな3ヶ年の初年度となる令和6年度については単年度での需給安定対策として実施され、宮城県の出荷目標数量は94,800トﾝ、前年比98.3%に設定しました。

宮城県生乳受託販売実績

(単位：kg、%)

月 団体名	4月			5月			6月			第1四半期		
	出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	5,192,197	202	92.3	5,287,329	202	91.2	5,034,344	201	92.1	15,513,870.0		93.8
全農宮城	1,223,702	54	88.5	1,224,556	53	86.9	1,184,647	53	90.4	3,632,905.0		81.7
宮城酪農	2,141,635	93	94.1	2,156,869	93	93.8	2,062,838	93	95.1	6,361,342.0		90.1
宮城県	8,557,534	349	92.2	8,668,754	348	91.2	8,281,829	347	92.6	25,508,117.0		90.9

月 団体名	7月			8月			9月			第2四半期		
	出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	5,119,695	201	93.3	4,644,728	200	86.7	4,603,809	200	89.9	14,368,232.0		92.2
全農宮城	1,188,106	53	91.2	1,110,781	53	89.8	1,027,963	52	86.6	3,326,850.0		81.8
宮城酪農	2,044,954	91	93.2	1,896,486	91	88.3	1,809,196	89	86.9	5,750,636.0		85.4
宮城県	8,352,755	345	93.0	7,651,995	344	87.5	7,440,968	341	88.7	23,445,718.0		88.8

月 団体名	10月			11月			12月			第3四半期		
	出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	4,845,461	199	90.5	4,608,829	199	91.6	4,775,541	197	91.1	14,229,831.0		90.6
全農宮城	1,107,969	52	91.9	1,054,564	52	92.3	1,114,161	50	93.9	3,276,694.0		82.7
宮城酪農	1,912,028	88	89.9	1,817,646	88	88.5	1,932,887	87	90.1	5,662,561.0		84.7
宮城県	7,865,458	339	90.5	7,481,039	339	90.9	7,822,589	334	91.3	23,169,086.0		87.9

月 団体名	1月			2月			3月			第4四半期		
	出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	4,923,548	196	92.1	4,783,025	197	100.4	5,091,608	197	95.2	14,798,181.0		92.1
全農宮城	1,156,557	50	95.8	1,125,214	50	101.2	1,202,770	50	96.4	3,484,541.0		86.0
宮城酪農	1,986,056	86	91.1	1,914,467	86	96.0	2,087,300	87	94.5	5,987,823.0		89.6
宮城県	8,066,161	332	92.3	7,822,706	333	99.4	8,381,678	334	95.2	24,270,545.0		90.6

月 団体名	令和5年度計		
	出荷戸数	前年比	
みやぎの	58,910,114.0		92.1
全農宮城	13,720,990.0		91.9
宮城酪農	23,762,362.0		91.8
宮城県	96,393,466.0		92.0

令和5年度家畜共済事業実績について

NOSA I 宮城

令和5年度の家畜共済事業実績を報告いたします。

1. 引受関係

現在、畜産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、農業者の廃業等による戸数の減少により引受頭数は延べ209,481頭（前年比96.5%）となりました。

共済金額について、疾病傷害共済は料率改定に伴い支払限度額を満額で選択する加入者が増えたことで前年対比196.2%となりましたが、引受頭数の減少と令和5年度適用の共済価額の減少により全体では59,103,423千円（前年比96.8%）となりました。

2. 事故関係

死亡廃用事故件数について、頭数は乳用牛で50頭減少しましたが肉用牛では86頭増加し、全体で24頭増加（前年比100.4%）となりました。病類別に見ると循環器病・消化器病が増加していますが、令和5年度は猛暑の影響で暑熱による事故が107頭あり、また、火災による死亡事故も56頭発生しました。近年増加傾向にあった牛伝染性リンパ腫による事故については、前年度より8頭減少し死亡廃用事故全体の2.8%と前年度より0.2%減少しました。

支払共済金は、事故頭数が増加したものの事故家畜の評価額が減少したことで47,079千円（前年比94.4%）となりました。

病傷事故については、乳用牛で453件、肉用成牛で1,128件の減少となりましたが、肉用子牛では342件増加し、全体で1,243件（前年比97.1%）の減少となりました。病類別で見ると、乳用成牛で消化器病、泌乳器病は減少しましたが生殖器病が増加。肉用子牛では消化器病が増加しました。

支払共済金については、前年度より15,756千円減少（前年比97.2%）しましたが、乳用牛及び肉用成牛は減少したものの肉用子牛は12,167千円増加しており、子牛に係る事故が増加傾向にあります。

令和5年度家畜共済事業実績

		引受（加入）			死廃事故			病傷事故			
		頭数 頭	共済金額 千円	共済金額前年比 %	頭数 頭	支払共済金 円	共済金前年比 %	件数 件	支払共済金 円	共済金前年比 %	
家	死亡 廃用 共済	乳用牛	17,791	3,484,599	74.4	1,320	191,004,228	88.7	/		
		肉用牛	114,970	53,586,236	97.1	3,559	613,986,238	96.3			
		一般馬	3	3,142	109.9	1	1,652,800	-			
		種豚	1,905	110,882	85.6	1	33,600	-			
		肉豚	13,909	122,399	85.8	0	0	0.0			
		種雄牛	10	4,498	67.5	0	0	0.0			
		計	148,588	57,311,755	95.3	4,881	806,676,866	94.5			
畜	疾病 傷害 共済	乳用牛	13,004	499,700	212.8	/			8,798	139,613,219	91.1
		肉用牛	47,847	1,291,382	190.6				33,480	425,131,938	99.5
		一般馬	2	45	52.3				0	0	-
		種豚	30	149	114.4				2	15,219	115.4
		種雄牛	10	392	97.6				3	59,301	52.5
		計	60,893	1,791,668	196.2				42,283	564,819,677	97.3
		合計	209,481	59,103,423	96.8				4,881	806,676,866	94.5

胎子死等の新生児異常が増加しています。新生児異常を防ぐためには妊娠期間中の飼養管理を適切にすることや初乳を十分量給与することが重要です。また、幼齢期の下痢には、妊娠末期の母牛に対するワクチン接種が有効です。原因や対策は農家ごとに異なりますので獣医師にご相談ください。

NOSA I 宮城では、畜産経営安定のため、これからも丁寧な説明による加入推進を行ってまいります。制度や補償内容についてお気軽にお尋ねください。

(第二事業部家畜課 原 英博)

〈畜試便り〉

「特殊肥料等入り指定混合肥料」による堆肥の利用拡大について

宮城県畜産試験場

令和元年の肥料制度の見直しで、「特殊肥料等入り指定混合肥料」(以下「指定混合肥料」という)の区分が追加され、堆肥と化学肥料の混合肥料が加熱乾燥不要で特別な製造施設がなくても製造可能になりました。

平成4年度から畜産試験場では関係機関と連携し、指定混合肥料の普及拡大による堆肥の利用促進を図るため、耕種農家が利用しやすいように追肥回数減等の省力化のための配合内容や加工法を検討しています。

表1 特殊肥料等入り指定混合肥料の主な要件

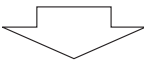
①手続きと成分保証	・生産・販売が農政局への届出で可能(審査・手数料とも不要) ・成分の含有量の表示義務あり(一定の許容差が認められる)
②原料堆肥の品質	・堆肥の品質 含水率50%以下
③造粒・成形と加熱乾燥	・加熱乾燥不要(造粒、成形を行うかは選択) (造粒・成形・加熱・乾燥のための特別な設備を持たない畜産農家も生産可能。)

農業・園芸総合研究所、古川農業試験場と共同で行っている80%以上の堆肥と緩効性肥料等をペレット化した試作混合肥料による水稲や園芸作物での栽培試験では、慣行栽培と同等の収量が得られています。

また、ペレット堆肥混合肥料には図1の特徴がありますが、一般的に水分が高く造粒し難い牛ふん主体の有機センター等の肥料製造施設でも設備導入費を抑え指定混合肥料の製造に取り組むために、既存の製造ラインを活用した攪拌混合程度の加工方法も必要と考えました。そこで加美町土づくりセンター・JA加美よつば・セントラル化成等と協力して堆肥と緩効性肥料の攪拌混合のみで指定混合肥料を試作しました。複数野菜で慣行栽培の基肥の全部または一部を指定混合肥料に変更した現地実証試験では、試験区で慣行区より初期生育が劣る品目もありましたが、収量は同程度でした。(令和5年に商品名「エコ堆くんプラス」として加美町土づくりセンターが東北農政局に指定混合肥料届出を行い、JA加美よつばで試験販売実施)

耕種農家が利用しやすいようにするためには指定混合肥料の改良が必要で、近年の国際情勢不安による肥料価格の高騰やSDGsの流れを踏まえ、作業の省力化を図りながら効率的な循環型農業を推進しつつ、これからも堆肥の利用拡大・化学肥料の利用低減などを図っていきます。

- 散布しやすい(ブロードキャスターでの散布可)
- 容積小さく、保管性・運搬性・ハンドリング良
- ×製造設備導入費用(造粒機+製造ライン等)
- ×原料水分調整必要(30%程度以下、調整場所・作業等必要)



県内有機センター等に関心あるが設備導入まで至らないことが多い

図1 ペレット堆肥混合肥料のメリット・デメリット

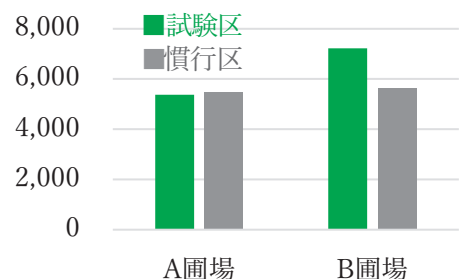


図2 ハクサイ現地試験の出荷量 (kg/10a)

(草地飼料部 荒木 利幸)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当: 審査部登録課 電話03-3583-2142)

令和6年度全農宮城県本部畜産部の事業方針

全農宮城県本部畜産部

生産場面では、高齢化の進展、担い手不在による廃業の増加、そして飼養戸数・頭数の減少など、生産基盤の弱体化が懸念される状況が続いている。そうした中で、配合飼料をはじめとした生産資材価格の高止まり、糞尿処理等の環境問題や法令対応に係る施設修繕・衛生対策費用、規模拡大に伴う事故率の上昇・繁殖成績の悪化など、生産費の増加が畜産農家の経営を圧迫している。特に、生産基盤対策の効果により全国の和牛子牛生産頭数が増加する一方で、肥育農家の子牛購買力の低下により、子牛市場取引価格が大きく落ち込んでいる。

なお、畜産事業に係る社会の要請として、SDGs、みどりの食糧システム戦略、アニマルウェルフェアへの対応が求められている。

また、増加する肉牛肥育、酪農、養豚経営の大規模経営体における系統外利用・出荷が課題となっている。

消費場面では、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、ECサイトによる通信販売が急激に拡大するなど、消費構造や消費ニーズが大きく変化している。

なお、和牛肉については、物価高に伴う消費者の生活防衛意識の高まりによって需要が落ち込み、生産基盤対策の効果による出荷頭数の拡大に伴い生産量が増加していることもあり、牛肉国産在庫数量は高止まりしている。こうした厳しい情勢の中、畜産農家の環境変化に耐え得る足腰の強い経営の確立を目指した生産性向上対策、そして消費者ニーズへ対応した生産・販売対策が強く求められる。JAグループとして県行政等関係機関と連携し、耕畜複合経営や地域内耕畜連携による水田を活用した資源循環型農業の推進、作業の外部委託に係る仕組みづくりによる労働力負担の軽減や規模拡大のサポートの推進、そしてスマート技術の普及と導入支援などによる生産性向上対策の推進に取り組む。

また、畜産経営担い手育成研修事業をはじめとした、知識・技術の習得による人材育成、担い手への活動支援に取り組むなど、地域の生産基盤の維持・強化を図る。

さらに、県本部として、子牛市場を核とした需要を踏まえた、和牛の育種・改良・生産指導事業の強化、魅力ある市場運営、そしてブランド力・輸出対応の強化など、販売戦略の構築・実践に取り組み、販売力を強化する。特に、和牛生産基盤の維持に向けて、優良雌牛の保留強化、県内雌牛集団の整備を進め、発育良好で産肉能力・種牛能力に優れた子牛生産の促進に取り組むとともに、分娩間隔の短縮、適正出荷の促進、乳用牛による和牛受精卵移植の普及拡大、和牛繁殖農家における飼養頭数の拡大など、生産性の向上とあわせた中長期的な増頭に取り組む、再生産を可能とする所得の確保、そして中核となる家族経営体の担い手確保を図る。

また、令和9年8月に開催される「第13回全共北海道大会」に向けて、食味の向上が期待される「脂肪の質」等の改良、「地域の特色ある牛づくり」の充実など、更なる飛躍を目指して着実に準備を進め、本県の和牛育種・改良事業の一層の発展と畜産振興を図る。

1. 畜産生産基盤維持・拡大の取組強化

(1) 繁殖牛生産基盤の維持・拡大

ア. JA及び各地域育種・改良組合と連携した生産指導の実施

JAの子牛登記業務の内製化と生産指導体制の強化

- イ. 飼養管理改善による和牛生産効率の向上
 - 肉用牛総合対策事業による分娩間隔の短縮促進 (2030年目標:年1産)
- ウ. 簡易牛舎貸付事業による維持・拡大
- エ. 初妊牛生産事業による和牛繁殖牛供給・優良子牛生産
- オ. 優良雌牛保留対策事業による優良雌牛保留

2. 家畜市場事業の取組強化

- (1) 子牛市場取扱頭数の維持・拡大
- (2) 肉用牛総合対策事業による子牛市場における適正出荷の促進 (2030年目標:平均出荷日令270日)

3. 肉畜販売事業の取組強化

- (1) 仙台牛・仙台黒毛和牛、宮城野豚・しもふりレッド等銘柄推進と販売強化
- (2) SNSやECサイト等を利用した販売促進など地産地消・消費拡大の取組強化と指定店等フェアや独自企画など購買者・指定店等との連携による販売強化
- (3) 牛肉輸出事業の取り組み

4. 生乳計画生産の取組強化

- (1) 酪農生産基盤の維持・拡大及び計画的な生乳生産の着実な実行
- (2) 生乳流通体制合理化への取り組み

5. 全国和牛能力共進会対策の取組強化

- (1) 出品対策事業の強化
 - ア. 第13回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会による計画策定・実施
 - イ. 食味性の向上が期待される「脂肪の質」等枝肉情報の収集・利用
 - ウ. 宮城の特色ある繁殖基盤整備

6. 担い手活動取り組み強化

- (1) 担い手育成・組織活動の強化

7. 生産振興事業取り組み強化

- (1) 畜産クラスター事業への取り組み
 - ア. 水田を活用した自給飼料や飼料用米の利用拡大など、耕畜複合経営や地域内乳肉複合・耕畜連携による資源循環型畜産の推進
 - イ. コントラクターなど一部作業の外部委託による労力軽減や規模拡大の推進

(畜産部 安齋 彰洋)

NAR 地方競馬全国協会 岩手競馬(盛岡・水沢開催)6・7月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	盛岡
7月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
盛岡							盛岡						盛岡						盛岡											盛岡	

※開催期間中の重賞レース

- ・6/2(日) 第48回ウイナーカップ
- ・6/9(日) 第9回早池峰スーパースプリント
- ・6/16(日) 第32回東北優駿
- ・6/23(日) 第52回一條記念みちのく大賞典
- ・6/30(日) 第17回サファイア賞
- ・7/2(火) 第12回ハヤテスプリント
- ・7/7(日) 第46回せきい賞
- ・7/9(火) 第56回岩鷲賞
- ・7/14(日) 第37回やまびこ賞
- ・7/15(祝・月) 第28回マーキュリーカップ(メイセイオペラ記念)
- ・7/21(日) 第4回いしがきマイルズ
- ・7/30(火) 第25回オパールカップ
- ・7/31(水) 第25回若鮎賞

「白石牧場で牛の管理を学んでみませんか。」 (令和7年度「畜産経営担い手育成研修事業」研修生募集)

公益社団法人 みやぎ農業振興公社

みやぎ農業振興公社では、宮城県・全農宮城県本部等畜産関係機関と一体となり、肉用牛生産に従事を希望する者に対し、白石牧場において、肉用牛の飼養管理技術及び畜産経営等について、基礎学習・実習により、大規模繁殖経営を担う次世代の人材育成を行う「担い手育成研修事業」を令和4年から実施しています。

令和7年度研修生を募集しますので、御希望の方は、ぜひ申込をしていただきますようお願いいたします。

- 1 募集人員 3名程度。
- 2 研修期間 令和7年4月から1年間または2年間（短期研修等は応談）。
- 3 募集対象者 満18才以上で、県内で畜産農家の担い手として就農意志があること等。
- 4 募集期間 令和6年6月3日（月）から令和6年12月27日（金）
- 5 選考方法 書類審査及び面接を行います。
- 6 研修場所 公益社団法人みやぎ農業振興公社白石牧場（白石市福岡深谷字正人壇1-1）
- 7 研修費用等 研修費用は無料です。（ただし、傷害保険料・作業服・宿泊費等は自己負担となります。）
- 8 支援制度 国の事業である「就農準備資金」の制度がありますが、採択に当たっては、一定の要件を満たす必要があります。
- 9 問い合わせ 研修事業等についての詳細は、
畜産・農村振興部畜産振興班研修担当（電話022-275-9193）までお問い合わせください。

第59回宮城県ブラックアンドホワイトショー開催のお知らせ

宮城県ホルスタイン改良同志会

ホルスタイン種の改良、普及奨励並びに飼育管理・育成技術の研鑽と併せ、会員の親睦を図り、本県ホルスタイン種の改良に資することを目的とした、第59回宮城県ブラックアンドホワイトショーを下記のとおり開催することとなりました。

- 1 開催日 令和6年6月22日（土）午前9時50分開会
- 2 場所 みやぎ総合家畜市場（美里町）
- 3 審査員 全国ホルスタイン改良協議会 認定ジャッジマン 足利 秀忠 氏
- 4 出品区分

未 経 産		経 産	
第1部	生後12ヶ月未満	第5部	生後36ヶ月未満
第2部	生後12ヶ月以上～16ヶ月未満	第6部	生後36ヶ月以上～48ヶ月未満
第3部	生後16ヶ月以上～20ヶ月未満	第7部	生後48ヶ月以上～60ヶ月未満
第4部	生後20ヶ月以上	第8部	生後60ヶ月以上

(事務局 一般社団法人宮城県畜産協会家畜改良課)

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会 特別区／畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携 大分県高田牧場／他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産

がんばる!畜産!7

畜産映像情報



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

農業共済新聞を購読してみませんか！

NOSA I 団体の動きはもとより、農政、営農技術、暮らし、農産物流通、農業資材など幅広い分野の情報を提供しています。



- 生産現場のアイデアが満載
- わかりやすい農政解説
- 農業保険情報をより早くキャッチ
- 身近な話題が豊富

農業保険コラボキャンペーン実施中

R6.12月末までに、新規購読頂ける方は、下のクイズに正解すると正解者の方100名様にクオカード(1,000円)をプレゼント！

問題：○に入る言葉は？

農○保険で安心の選択



▲みやぎ版(毎月1、3週号)
東北版(毎月2、4週号)に
地域の話が満載

農業共済新聞 毎週水曜日発行 年間購読料 5,520円(税込)
お申込みの用紙は ⇒ 宮城県農業共済組合 ☎ 0800-170-6701
✉ kouhou@nosaimiyagi.or.jp

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和6年1月 (概算払)	(44,759.0円)	—	(9,112.7円)
精算払	51,330.6円	—	15,795.9円
2月 (概算払)	(55,031.6円)	—	(12,247.4円)
精算払	61,603.2円	—	18,615.6円
3月 精算払	86,207.4円	—	35,480.7円

◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金)の交付金単価 令和5年度第4四半期

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
補給金単価	—	—	90,510円	—	—

◎和子牛生産者臨時経営支援事業の交付金単価 令和5年度第4四半期

	黒毛和種(東北ブロック)	褐毛和種(全国)	その他の肉専用種(全国)
交付金単価	40,800円	—	令和5年4月~令和6年3月分 18,700円

※ 子牛補給金の登録牛かつ令和5年10月から12月に販売した子牛が対象(自家保留牛は対象外)

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の交付金単価 令和5年度第1~4四半期 交付なし

〈衛生便り〉

アフリカ豚熱の侵入防止対策について

宮城県大河原家畜保健衛生所

アフリカ豚熱 (ASF) は、ASFウイルスが感染することで発症する豚及びいのししの伝染病です。強い感染力と高い致死率を特徴とし、特定家畜伝染病に指定されています。感染した豚は、発熱、元気消失、食欲不振、紫斑 (チアノーゼ) など豚熱と類似した症状を示し、有効な治療法はありません。豚熱との違いとして、ワクチンが存在しない点、ダニが媒介する点、ウイルスが長期間環境中で生存する点が挙げられます。万が一国内に侵入した場合、豚熱以上に防疫対策が困難となることが予想されることから、国内に病原体を入れない侵入防止対策が重要です。

現在まで本疾病の国内での発生は確認されていませんが、一部地域を除いたアジア各国で発生が確認されています。昨年度は韓国の釜山でASFウイルス陽性の野生イノシシが相次いで確認 (R6年4月22日時点で25例) されており、同都市から博多、大阪、下関など日本行きの航路が複数あることから、侵入リスクが非常に高い状況が続いています。また、海外から空港に持ち込まれた畜産物からは実際にASFウイルスが確認されており、動物検疫所の報告では2024年3月時点で旅客携帯品から158例、国際郵便物からは29例アフリカ豚熱ウイルスの遺伝子が検出されています。

こうした状況の中で、ASFウイルスの国内への侵入を防ぐための対策として重要となるのは、海外からソーセージ等の肉の入った食品を持ち込まないことや、帰国後一定期間は農場に近づかないことの徹底です。また、国内への侵入に備え、農場に従事される方々は野生動物の侵入対策や農場内への病原体の侵入防止対策を含む、飼養衛生管理の徹底と定期的な点検をお願いします。

(防疫班 井上 長青)

〈農業大学校生の抱負〉

就農への道

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 佐々木 杏時



私は、宮城県農業大学校畜産学部の佐々木杏時です。私の家では主食用米10haを生産し、併せて繁殖牛を6頭飼育して和牛の繁殖経営をしています。私は幼少のころから牛の飼養管理や水稲の手伝いをしながら過ごしてきました。高校では畜産を専攻し、3年間を通して牛や豚の飼養管理方法を学びました。畜産を学ぶにつれ、将来は家の繁殖経営を継ぎ頭数を増やしたいと思うようになり、より畜産の知識を深めるため宮城県農業大学校に入学しました。1年生では約1カ月間、登米市で和牛の一貫経営をしている農家さんで先進農業体験学習を行い、牛の飼養管理や大豆に関する知識を身に付ける事が出来ました。2年生ではさらに多くの知識を習得するとともに、家畜人工授精師や削蹄師、家畜商の資格を取得し、将来就農したときに経営をスムーズに行えるように日々精進してまいります。

将来は増頭して30頭規模で繁殖経営を行うとともに、農地の集約を行い、高齢化や担い手が不足する地域の農業を支えていけるような経営者になりたいと考えています。また、私には「良い牛をつくる」という目標があります。その目標を実現させるために、我が家の牛の管理と農業大学校での実習を通して日々たくさんの事を学び、試行錯誤をしながらどんなことにも興味を持ち挑戦して行くことを忘れずに今後の農業大学校生活を過ごしていきたいと思ひます。

	<p>宮城県産黒毛和種</p>	<p>6月1日は</p>
--	-----------------	--------------

〈New face〉



宮城県農政部畜産課
鈴木 美紀

令和6年4月より宮城県農政部畜産課生産振興班に配属となりました。鈴木美紀(みのり)と申します。出身は宮城県仙台市で、宮城大学食産業学群を卒業した後、北海道大学大学院農

学院に進学し、今年3月に修士課程を修了しました。大学院では遺伝繁殖学を専攻し、妊娠ウシ子宮組織で特異的に発現し妊娠維持に寄与する免疫関連因子について研究を行いました。

大学6年間で学んだ畜産分野において、大好きな地元宮城県の振興の一助になりたいと考え、宮城県庁に入庁致しました。配属先の生産振興班では、肉用子牛の価格安定対策や家畜市場に関する業務等を担当させて頂いております。

現在はまだ半人前とも言えませんが、主体的に学び沢山のことを吸収して、自分なりに少しずつ成長し、多くの方に必要としてもらえる職員になりたいと考えています。未熟者ではありますが、宮城県の畜産の更なる発展に貢献できるよう尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



仙台家畜保健衛生所
田中 芳樹

はじめまして、令和6年4月より仙台家畜保健衛生所に配属になりました。田中芳樹と申します。出身は埼玉県で、麻布大学の獣医学科を卒業しました。衛生学第2研究室に所属し、牛

の下痢症(コロナウイルス、トロウイルス)のPCR開発の研究をしていました。私は、宮城県は初めてで、宮城県の土地勘や方言、食文化など知らないことだらけなので、いろいろ教えていただければ嬉しいです。

埼玉県の家畜保健衛生所で代替職員として1年ほど勤務しました。そこでは畜産支援・安全対策担当として働き、高病原性鳥インフルエンザの防疫措置など様々なことを体験しました。ですが、まだまだ畜産について知らないことがたくさんあるので、農家や関係機関の方、そして家保の先輩方から多くのことを学び、着実に成長できるよう頑張りたいと思います。

宮城県の畜産に貢献できるよう精進いたしますので御指導のほど、よろしくお願いいたします。



北部家畜保健衛生所
山本 早苗

初めまして。令和6年4月より宮城県北部家畜保健衛生所に配属となりました。山本早苗(やまもとさなえ)と申します。出身は神奈川県横浜市で、今年3月に北里大学を卒業しまし

た。大学では毒性学研究室に所属し、培養細胞を用いた実験とパソコン上でのシミュレーション実験を併用して殺鼠剤の野生動物への影響について研究していました。宮城県は初めて住む土地のためまだ知らないことが多いので、おすすめの場所や食べ物、行事等ありましたら教えていただけると嬉しいです。

現在働き始めて1ヶ月と少しになりますが、採血や事務作業に慣れず戸惑い慌ててしまう毎日です。畜産の知識が足りず先輩と農家さんの会話についていけないことをもどかしく思うことも多々あります。まだまだ未熟で、先輩方や農家さんのご指導なしにはなかなか前へ進めない私ですが、いち早く宮城県に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



東部家畜保健衛生所
岩澤 明香里

はじめまして。4月から宮城県東部家畜保健衛生所の防疫班に配属となりました。岩澤明香里(いわさわあかり)と申します。出身は宮城県白石市です。

令和6年3月に岩手大学を卒業し、地元の宮城県に戻ってまいりました。大学では繁殖機能制御学研究室に所属し、牛の繁殖検診や馬の人工授精を手伝ったり、馬の妊娠診断法の研究をしたりしていました。幼い頃から動物全般が好きですが、特に牛や馬などの大きな動物や、最近は鳥にも魅力を感じています。

大学では動物の病気について勉強してきましたが、畜産の現場に関する知識や技術はまだ身についていないものも多く、経験不足を痛感しております。

ご迷惑をおかけする場面もあるかもしれませんが、日々精進していきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



宮城県畜産試験場
羽鳥 連

今年度から宮城県畜産試験場に配属されました羽鳥連（はとりれん）と申します。出身は仙台市で、令和6年3月に青森県の北里大学獣医学部動物資源科学科を卒業しました。大学では動物飼育管理学研究室に所属

し、THI（温室度指数）を指標とした暑熱ストレスと乳牛の繁殖性の関連性について研究を行ってきました。研究室では羊を飼育しており、日々の給餌・清掃から分娩の補助、毛刈りなど様々な飼養管理の現場に携わることができました。また、学内の農場で牛・羊・ヤギの世話をするアルバイトに取り組み、実際に動物に関わる機会が多かったため、この経験を業務に活かしていきたいと思っています。

現在、私は畜産試験場の酪農肉牛部乳牛チームに配属され、乳牛（ホルスタイン）の飼養管理、試験研究に取り組んでいます。実際の現場では初めて知ることがたくさんあり、自身の知識・経験不足を感じる場面が多々ありました。これから試験研究も本格的に始動し、さらに深い知識が必要になると思います。学んだことを一つ一つ確実に身に付け日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



宮城県畜産試験場
小林 朋生

はじめまして、令和6年4月より宮城県畜産試験場種豚家さん部に配属となりました、小林朋生と申します。出身は群馬県で、青森県にキャンパスがある北里大学獣医学部獣医学科を卒業しました。大学では薬理学研

究室に所属し、心臓の培養細胞を使った細胞内情報伝達機構の研究を行っていました。細胞の培養技術や得られた実験データの解析等、畜産試験場での研究業務にも活かせることがあればと考えております。趣味は釣りや旅行です。各地を巡ることでその地域の良さを知ることができるのが釣りの魅力です。広く太平洋に面し、水源の豊富な宮城県の各地域の良さを、仕事のみならず趣味を通して体感したいと思っています。

畜産試験場での私の業務内容は、系統豚「ミヤギノL2」の維持や豚の診察・健康管理と飼養管理技術に関する試験研究など多岐に渡りますが、ほとんど知らないことばかりです。入庁して一か月となりますが、知識の無さから日々もどかしい思いをしています。諸先輩方のご指導をいただきながら、着実な知識と経験を積み、宮城県の畜産振興に貢献できる一人前の県職員となれるよう、責任感を持って努力してまいります。



宮城県畜産試験場
菅原 雄司

はじめまして、令和4年11月に宮城県畜産試験場種豚家さん部農場業務職員での採用となりました菅原雄司と申します。出身は栗原市で、現在、豚の飼養管理や精液採取、試験研究のデータ収集補助、繁殖管理など

様々な業務を行っています。私が農場業務を行う上で心がけていることは家畜の体調の変化に気を配り、些細なことも見逃さないようにすることです。怪我や病気を早期に発見できれば、重症化する前に治療ができ、豚が良い状態であれば、高品質な精液の採取や、正確な試験データの収集が可能となります。豚の体調管理は農場業務にとって非常に重要であると思います。

現在、畜産業をはじめする農業においては、担い手不足、飼料や肥料の高騰など様々な問題を抱えています。そのような中でも環境の変化に対応しながら県民の皆様へ安全・安心な畜産物を届けるとともに、宮城県の畜産業の発展に貢献できるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



宮城県畜産試験場
天野 奨喜

はじめまして、令和6年4月より宮城県畜産試験場種豚家さん部に農場業務職員として配属されました、天野奨喜と申します。出身地は加美町で、令和6年3月までの約7年間、会計年度任用職員として当部に勤務し

ておりました。私はこれまで豚と接する機会がなかったため、勤務当初は不安でしたが、先輩及び上司の皆様にご指導をいただき、様々な経験を重ね農場業務を行ってきました。そして、「しもふりレッド」など系統豚の魅力や、飼養管理、衛生管理、環境整備や試験研究補助などに関わる農場業務職員の魅力に惹かれ、宮城県職員を志すようになりました。

現在は、種雄豚の採精業務など飼養管理全般を担当しており、優良種畜の配布や家畜改良増殖に携わることができてとてもやりがいを感じています。

今後は家畜管理技術の向上に努め、宮城県の畜産振興に貢献できるよう精進してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所

仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)

大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

M P ア グ ロ (株)

仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム

仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301